

R 6 年 7 月 放 送 分
「東北防衛局の広報活動について」
(日本の防衛 Q & A)
(自衛隊百科)

R6. 6. 21 収録

【パーソナリティー】

本日は、「東北防衛局の広報活動について」をテーマに、東北防衛局報道官の佐藤耕悦^{さとうこうえつ}さんに、お話を伺います。よろしくお願いします。

【報道官】

東北防衛局報道官の佐藤です。よろしくお願いします。

【パーソナリティー】

報道官というと、普段は、新聞社やテレビ局の記者さんのご対応をされているのでしょうか？

【報道官】

はい。新聞社やテレビ局といった報道機関の窓口となって、取材対応をしています。例えば、報道機関から、自衛隊と米軍の共同訓練の予定や内容について、電話で質問があれば、それに回答しています。

【パーソナリティー】

ということは、佐藤さんが回答されたことが、新聞やテレビで報道されることもあるのでしょうか？

【報道官】

はい。私の話したことが、「東北防衛局によると」というような形で、新聞に掲載されることもありますので、報道機関からの取材に対応するときは、正確な情報の伝達を第一に心がけています。

【パーソナリティー】

重要なお仕事ですね。

新聞社やテレビ局の記者さんのご対応も、広報活動になるのです

か？

【報道官】

はい。東北防衛局では、地域の皆様のご理解を得るため、色々な広報活動をしています。報道機関からの取材の対応も、新聞の読者やテレビの視聴者の皆様への情報提供に繋がる、大切な広報活動の一つと考えています。

【パーソナリティー】

確かに、新聞やテレビの報道は、世の中のことを知るための大切なツールですから、新聞社やテレビ局の記者さんの対応は、とても大切です。

他には、どのような広報活動があるのですか？

【報道官】

まず、広報紙からご紹介します。東北防衛局では、年４回「東北のかなめ」という広報紙を発行し、東北防衛局の取組や活動を紹介しています。

６月に発行した最新号では、今年の３月、青森県上北郡東北町で開催した「日米交流 ひな祭り in TOHOKU Town」を、巻頭で取り上げました。日米の小学生の親子が、ひな人形が飾られた会場で、琴の演奏や着物の着付け、餅つきなどで交流している様子を、多くの写真を使って紹介しています。

他にも、災害の発生に備えて、調達部の職員が、仙台駐屯地で、地震で被害を受けた建築物の二次被害を防止するため、危険性を判定する「応急危険度判定訓練」を行ったことや、この春、新たに採用された職員の研修の様子なども紹介しています。

【パーソナリティー】

私の手元にその広報紙があるのですが、表紙の「流鏑馬^{やぶさめ}」の写真が勇壮で印象的です。

【報道官】

はい。表紙は、青森県十和田市の「世界流鏑馬選手権」です。

「東北のかなめ」には、東北6県の市町村の観光名所やお祭りなどを紹介する「ようこそわが街へ」というコーナーがありますので、今回は、十和田市の伝統行事である「流鏑馬」について紹介しています。表紙の写真も十和田市からご提供をいただいたもので、「東北のかなめ」を手にとって頂くきっかけになるよう、迫力のある一枚を厳選しました。

【パーソナリティー】

なるほど。コンテンツには、他にも「防衛関連企業シリーズ」というものもありますね。

【報道官】

はい。これは、自衛隊の装備品などを製造している企業を紹介するコーナーです。東北地方には、自衛官の制服や、トラックのタイヤ、艦艇用の航法装置など、様々な装備品などを製造している企業がたくさんあります。

最新号では、防じん・防毒マスクといった呼吸用保護具を製造している企業を紹介しています。

製品を作るときの工夫や思い、あるいは地域貢献やSDGsへの取組などを、毎回取材して記事を書いています。

【パーソナリティー】

それは、興味を引きますね。

ところで、この「東北のかなめ」はどこで見ることができますか？

【報道官】

各自治体や大学、高校などに配布しています。また、東北防衛局のホームページにも掲載していますので、是非、ご覧ください。

【パーソナリティー】

ホームページで確認するのが、一番早そうですね。ところで、ホー

ムページには他に、どのようなことを掲載しているのですか？

【報道官】

はい。ホームページでは、東北防衛局の業務を紹介するほか、東北防衛局が発注する工事などの入札・契約情報、防衛省職員の採用情報、イベントの情報など、幅広い情報を詳しく掲載しています。

【パーソナリティー】

東北防衛局に関する情報を知りたいときは、まずはホームページをチェックですね。

ここまで、報道対応、広報紙、ホームページとお話を伺いましたが、他にも広報活動はありますか？

【報道官】

はい。まだまだあります。

この番組で何度か紹介しています「防衛セミナー」の開催や県市町村への「防衛白書の説明」も広報活動の一つです。

東北防衛局では、年数回、東北の各地で、防衛セミナーを開催しています。

直近では、今年の3月、宮城県多賀城市にあります多賀城市文化センターで開催しました。

第1部では、防衛省 整備計画局 防衛計画課なかののりゆきの中野憲幸課長から、「新たな国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画」というテーマで講演をいただき、第2部では、陸上自衛隊 多賀城駐屯地司令なかもとよしひさの中本能久1等陸佐から、「多賀城駐屯地と地域の関わりについて」というテーマで講演をいただきました。

今年度の開催については、これから決定していきます。

【パーソナリティー】

近くで開催されるときは、是非、聴いてみたいですね。開催情報などは、どこで知ることができるのでしょうか。

【報道官】

防衛セミナーの開催の告知については、開催場所周辺にポスターを掲示するほか、ホームページに掲載したり、^{エックス}「X」（旧ツイッター）でもお知らせします。ちなみに、Xでは、ほかにも職員採用試験の情報や業務セミナーの開催のお知らせなどホットな情報を発信しますので、是非フォローをお願いします。

【パーソナリティー】

防衛白書の説明についても、改めて教えていただけますか？

【報道官】

はい。東北6県の全自治体に対して、東北防衛局と自衛隊地方協力本部が分担のうえ、直接訪問して、防衛白書の概要や要点を説明することとしています。今年も令和6年版が刊行されましたら実施する予定です。

【パーソナリティー】

分かりました。他にありますか？

【報道官】

最後になりますが、駐屯地の記念行事や航空祭で、東北防衛局の広報ブースを設けて、防衛白書のパネル展示や各種パンフレットを配布して広報活動も行っています。

7月28日の八戸航空基地のサマーフェスタや8月25日の松島基地航空祭、9月29日の大和駐屯地創立記念行事でも、広報ブースを開設する予定です。

戦闘機や戦車などのポストカードなどもお配りしていますので、ご来場の際は、東北防衛局ののぼりを見かけましたら、是非お立ち寄りください。

【パーソナリティー】

本日は、東北防衛局の広報活動について、報道官の^{さとうこうえつ}佐藤耕悦さんにお話をお聞きしました。ありがとうございました。

【報道官】

ありがとうございました。

【パーソナリティー】

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆さまからご意見・ご感想を募集しております。お聞きのコミュニティ放送局までご連絡ください。